

北一協議体のこれまでの歩み

令和5年度

開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和5年4月5日	協議体 (41回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月27日開催の第1層協議体の報告 ・ 令和5年度第1層協議体の参加する、北一の第2層協議体の代表者選出。 ・ K1の活動の近況と活動理念の報告。 	<p>市民への貸出可能品の調査報告がありましたが、現在は資源は少ないことが分かりました。また6圏域の第2層協議体の活動報告がありましたが、新たに何か組織や活動が生まれたとの報告はありませんでした。福進協と協議体の連携強化に関しては、具体的な話には至りませんでした。</p> <p>令和4年度北一代表者の方に、令和5年度も継続でお願いすることを決定。</p> <p>参加される方がご自身が楽しみながら、ご自身の居場所を見つけつつ、地域がつながっていく活動に、将来の発展性を感じられます。K1の活動は担い手と参加者の関係ではなく、コアメンバーはサーバントリーダーとして、活動に参加される方と同じ目線で、この活動をどういう方向に発展させ、集まって下さった方々にどんな意識を持って帰っていただくか、お仲間と共に地域のお困りごとに対処したり、地域にこんなものがあったら良いなを実践しています。</p> <p>直近の問題点は、組織存続のための運用資金の捻出です。</p>
令和5年5月10日	協議体 (42回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉推進協議会と協議体それぞれの理念や活動経緯の説明。 ・ 市から貸出可能となったペタンクとボッチャの紹介。 	<p>6月に行われる「第4次地域福祉計画並びに福進協と協議体の連携」についての市からの説明を前に、新座市社会福祉協議会から「地域福祉推進協議会」について、SCから「協議体」についての説明を改めて行い。質疑応答の場を設けました。</p> <p>協議体に参加されている方の中には、「地域福祉推進協議会」の活動をほとんどご存じない方も多く、今回この説明でモヤモヤが解消した、各々の活動を理解できたとのことがありました。次月の市からの説明に対し、本日この場で得た両活動の違いを記憶に残しつつ、来月の「第4次地域福祉計画並びに福進協と協議体の連携」についての説明をお聞きいただきたいと思います。</p> <p>市から地域へ貸出可能品に、ペタンクとボッチャが追加されたので、ボッチャを持参して先ずは見て・触れていただき、ご利用を訴えました。</p>



開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和5年6月7日	協議体 (43回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉推進協議会と協議体それぞれの理念や活動経緯の説明。 ・ 「第4次地域福祉計画並びに福進協と協議体の連携・統合」の説明。 ・ 地域のお困りごと探し 	<p>福祉政策課より「第4次地域福祉計画並びに福進協と協議体の連携・統合」の説明があり、参『雰囲気づくりに終わらず、両者が熱意をもって統合へ取り組めるよう、行政にはロードマップ・タイムテーブルを提示してもらいたい。過去の歴史を踏まえ、立ち上がった市民のはしごを外すような行為は止めて欲しい。行政の縦軸にこだわらず、横串を通し本気で取り組んでもらいたい』とのご意見が出されました。</p> <p>お困りごとや相談事項の解決には、まずは日常の身近な関係の中の語らいからSOSを受信して、まずは身近な関係での対応を考える。それが叶わぬ時に、行政や専門職につなぐ、その様な関係性を地域のあちこちに数多く創り出すことに、参加者のご意見で活動の進路を変更しました。</p>
令和5年7月5日	協議体 (44回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暮らしの保健室 ・ 小さなつながりの場づくり 	<p>令和元年12月4日の協議体で、初参加のご挨拶で「地域にお住いの方が、ご自身が服用する薬の効能や、検診結果からの暮らしの注意点等を、専門職に気軽に談できる保健室的な活動をしたい」と仰いました。その後のコロナ禍もあって、実現できないままいました。しかし今年末に地域にオープン予定のウエルシア薬局様が、地域貢献で場所と専門職の方の派遣を申し出てくださいました。千載一遇のチャンスと、関係者にお集まりいただき、皆さんで検討していただき、医療や食の問題から始めて、色々なご相談をお受けできる相談室開設に向け動き出した経緯をご説明しました。</p> <p>近隣の方に「助けて」の声を出せる関係性構築のため、小さなつながりの場づくりについて話し合いました。すると「暮らしの相談室」は、将来的には色々なお困りごとを「助けて」と相談できる場であり、第2層協議体もこの活動に参加して、ご近所同士でも気軽に相談出来、互いに支え合える関係性を地域につくっていく活動を行う事を決定しました。</p>



開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和5年8月2日	協議体 (45回目)	<p>・ウエルシア薬局地域包括推進部の宮崎様をお招きして、ウエルシア薬局の地域貢献活動とウエルカフェについて、講演をお聞きした。</p>	<p>ウエルシア薬局は薬局の運営の他に、3つの地域協働活動を行っています。</p> <p>1. ウエルカフェ 2. 地域活動への協働参加 3. 移動販売</p> <p>その背景には次のようなものがある。</p> <p>○少子高齢社会で企業が経営の見直しを迫られる。その課題へのアプローチ</p> <p>○地域包括ケアシステムへの対応</p> <p>○社会貢献活動への対応（単純にモノを売るだけの企業ではない）</p> <p>ウエルカフェは店舗に併設したフリースペースで、予め予約すればその時間はスペース全体を使用できる。予約のない時間帯には「地域コミュニティスペース」として活用して欲しい。地域で活動する各々の主体が協働する中で、ウエルシアも参加して、地域毎のニーズに応える活動に加わっています。</p>
令和5年9月6日	協議体 (46回目)	<p>・「みんトレ！東野」新規体操サークル活動開始の説明と周知。</p> <p>・第1層協議体の報告</p> <p>・「のびのび広場」との連携、協働について</p>	<p>「みんトレ！東野」新規体操サークル活動開始</p> <p>第2層協議体のお仲間が、地域で新たに体操サークルを始められるそうです。「みんトレ！東野」は、東野小高齢者いきいき広場を拠点に、10月7日（土）より毎月第1・3土曜日午前10時～11時半まで開催されるそうです。</p> <p>第1層協議体の報告</p> <p>報告の中で、当日のご意見として協議体が吸収されてしまうのではないかと、或いは統合した際の責任の所在は何処に在るのか等のご意見が報告されました。</p>
			<p>「暮らしの保健室」（仮称）の活動</p> <p>7月の協議体で「暮らしの保健室」（仮称）活動に、第2層協議体が協働することを決定しました。そこで8月9日の「暮らしの保健室」（仮称）の会議の内容をお伝えし、利用される方が気楽に立ち寄れて、その日提供されるコンテンツから、興味を持てるものへ参加してもらい、顔なじみの関係づくりを行う。その活動に加わる協議体が、何をどの様に参加していくか、来月から考える。</p>

開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和5年10月4日	協議体 (47回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手養成講座のお知らせ ・ のびのび広場との協働について 	<p>「担い手養成講座」</p> <p>令和6年3月に「担い手養成講座」を計画している。今回はパネル展示と車いすとボッチャの体験講座を行う。パネル展示は地域の紹介または、地域での活動の紹介を行うが、参加者が地域の活動を紹介を選択した。コーディネーターが今夏作成した資料をベースに素案を作成し、毎回協議体で修正を加える方法で決定した。</p> <p>「暮らしの保健室」は活動の名称を「のびのび広場」に変更した。この活動は地域がお困りの方に支援するのではなく、地域でお困りの方を支える、地域共生社会の拠点を目指す。従って対象は高齢者もお子さんも、子育て世代も障がい者も、地域にお住まいの方の全てを対象とします。そしてこの場で全世代が集うイベントと、各分野の専門職のご協力いただき、この広場でお悩みを相談できる仕組みもつくる計画です。「助けて」と声を出せ、「何かお困りですか」と返せる地域のつながりをつくります。第2層協議体もこの活動に加わり協働していくことを決めました。</p>
令和5年11月1日	協議体 (48回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初開催「みんトレ！東野」の活動の感想報告。 ・ 福進協運営委員会に初参加の感想報告 ・ 担い手養成講座のパネル展示について 	<p>健康のための体操と、参加者間のコミュニケーションを図る場を目的に立ち上げたとの事。初回から28名の方が参加され、反省事項の対処も忘れていません。</p> <p>第1層協議体への第2層代表の方が、北一福進協運営委員会に初めて参加され、その感想の報告がありました。</p> <p>令和6年3月に開催予定の「担い手養成講座」に出展する、地域の活動を紹介するためのパネル作成は、コーディネーターが作成したたたき台に、参加者の皆さんからご意見をいただきました。「言いたいことは分かるが、文字数が多すぎて足を止めてもらえない。内容を吟味の上、箇条書きも加えて見易く改良の必要がある。」このご意見を踏まえて、コーディネーターが修正を行い、12月に再度検討を行うことを決定しました。</p>



開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和5年12月6日	協議体 (49回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手養成講座に展示するパネルの検討 ・ のびのび広場の活動との協働 	<p>・ 令和6年3月開催予定の「担い手養成講座」此処に出展する、地域の活動を紹介するパネルについて、この日2回目の話し合いを行いました。前月にSCが作成したたき台についてこの日修正したパネルを、皆さんに見ていただいた。掲載内容に関してはご賛同いただきましたが、更に詳しく説明を加えるとのご意見、見易くするために文字数を減らすとのご意見、相反するご意見の落としどころを見い出して、1月の協議体で完成形にする予定です。</p> <p>・ 頼話6年1月31日開催予定の初の活動「からだ測定&相談会」の詳細をご説明しました。さらに第2回活動は、子育て世代向けのコンテンツを予定しており、そこで思いつくコンテンツや、日ごろ寄せられる子育て世代のお困りごとや、心配事について意見をお聞きした。第2層協議体として、どのような協働が可能か、検討をしていく。</p>
令和6年1月10日	協議体 (50回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1層協議体の報告 ・ 担い手養成講座に出展するパネルについて ・ のびのび広場との協働について 	<p>・ 令和5年12月21日に開催された、第1層協議体の報告を受け、参加者が感想を話し合いました。協議体も福進協も、地区ごとに活動や考え方が異なることを改めて痛感した。或いは市と社協が責任を持って、地域に根付く様な組織構築の手助けをお願いしたい。活動に際して目的を明確にして、活動そのものを目的にすり替えることは、避けるべき等のご意見がありました。</p> <p>・ 担い手養成講座に出展するパネルについては、これまで検討してきた案に1月31日開催予定の「健康測定&相談会」の様様を至急追記して、それを最終決定パネルとする。</p> <p>・ 「のびのび広場」の第2回コンテンツを話し合いましたが、まずは初回の活動を終えたのち振り返りを行い、PDCAサイクルを回して次回活動に活かして、アクションを起こすべきとの結論に至りました。</p>



開催日	形態		
令和6年2月7日	協議体 (51回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・協議体と福進協の連携・協働について ・のびのび広場との協働について 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日は新座市役所福祉政策課と、新座市社会福祉協議会の職員が、協議体と福進協の連携・統合に関して、それぞれの立場で参加者に説明がありました。説明を聞いた参加者からの質問に、説明をしていただきました。主な回答 A:福進協に対する説明を現在準備している。そして参加されている方には、ご理解いただけるよう、粘り強く説明する。会議の負担増も極力避けたい。 A:第一次計画は市民が主体の計画で、第二次計画は出来る方が出来る範囲での考えだった。第二次計画以降は支え合いの仕組みづくりにまでは発展していない。 A:介護保険制度を利用することで、地域の関係性が希薄化した。 A:統合における予算や会議の流れ、事業の進め方は時間をかけて進めていく。
			<ul style="list-style-type: none"> ・1月31日に行った「健康測定&相談会」終了後の、振り返りをご報告して、参加者からの質問にお答えした。
令和6年3月6日	協議体 (52回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・お隣の北二協議体と福進協運営委員会に出席した感想の報告 ・協議体と福進協の連携・協働について ・「のびのび広場」との協働 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションで、協議体初参加の方との相互の自己紹介。北一協議体4月よりサブSC交代のお知らせ。 ・お隣の北二協議体と福進協運営委員会に参加した報告。北二は両組織ともに参加している方が多く居り、その点では協議体と福進協の連携・統合がやりやすい環境にあると感じられた。世代間交流を地域とどうつなげるかが課題と、お考えの方もいらした。
			<ul style="list-style-type: none"> ・協議体と福進協の連携・統合について話し合いました。ネガティブなご意見ポジティブなご意見の両方が出ましたが。相互理解を深めることから始めるべきとのご意見でまとまりました。 ・「のびのび広場」の次回活動についてご説明しました。

